

# 野洲市民病院整備事業設計施工事業者選定の結果について

令和5年11月30日

野洲市病院事業

## 野洲市民病院整備事業設計施工事業者選定結果

### 目 次

1. 事業者選定の方式・審査者等	1
(1) 事業者選定の方法	1
(2) 事業者選定の審査者	1
(3) 選定委員会	1
2. 事業者選定の経緯	2
3. 審査結果	2
(1) 第一次審査（参加要件確認）	2
(2) 第二次審査（実績審査、基礎審査、提案審査、価格審査）	2
①実績審査	2
②基礎審査	3
③提案審査	3
④価格審査	4
⑤総合評価	4
4. 講評（選定委員からの意見）	5

## 1. 事業者選定の方式・審査者等

### (1) 事業者選定の方法

本事業の事業者は、本事業の趣旨及び条件を十分理解した上で、病院の設計及び工事に関する高度な技術を有し、品質と価格が総合的に優れた内容で実施することができる者とするため、総合評価方式により決定した。

なお、事業者選定における基準は、「野洲市民病院整備事業落札者決定基準」によるものとする。

### (2) 事業者選定の審査者

入札書類審査に当たっては、下記の審査者で実施した。なお、市立野洲病院は、以下「本院」と記載するものとする。

	審査項目	審査概要	審査者
①	第一次審査 (参加要件確認)	・応募者から提出された第一次審査書類をもとに、参加資格の具備について確認を行った。(参加資格が確認できない場合は失格)	本院
②	第二次審査 (実績審査)	・参加者から提出された第二次審査書類(実績審査)をもとに、企業の実績及び担当者の実績について審査を行い、落札者決定基準に基づき実績点を算出した。	本院
③	第二次審査 (基礎審査)	・第一次審査通過者から提出された技術提案書等について、その内容が「別添資料1 要求水準書」に示す要求水準を満たしているかどうかの確認を行った。(技術提案書等の内容が要求水準を満たさない場合は失格)	本院
④	第二次審査 (提案審査)	・第二次審査(基礎審査)通過者の技術提案書等及びそれに基づくプレゼンテーション・ヒアリングの審査を行い、落札者決定基準に基づき技術提案点を算出した。	選定委員会
⑤	第二次審査 (価格審査)	・落札者決定基準に基づき、入札価格から価格点を算出した。(予定価格を上回る金額を入札した第一次審査通過者は失格)	本院
⑥	総合評価	・③、④、⑤の結果から、算出式に従い、総合評価点を算出した。 ・総合評価点は本院にて算出後、選定委員会委員が確認を行った。	選定委員会 本院

### (3) 選定委員会

選定委員会の委員は、以下のとおりである。

氏名	所属・職名等
今井 晋二 ◎	滋賀医科大学 整形外科学講座 教授 野洲市民病院整備事業等審議会 委員
大井 史江	武庫川女子大学 建築学部建築学科 准教授 野洲市民病院整備事業等審議会 委員
中嶋 節子	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授 野洲市民病院整備事業等審議会 委員
柏木 厚典	社会医療法人誠光会 淡海医療センター 名誉院長 野洲市民病院整備事業 顧問
小森 久美子	市立野洲病院 看護部長
佐野 博之	野洲市 副市長
	以上

◎は委員長

## 2. 事業者選定の経緯

スケジュール	落札者決定のプロセス
令和5年6月1日(木)	入札公告、入札説明書等交付開始
令和5年6月9日(金)	第1回 入札説明書等の質問(入札参加に関する事項)の受付期限
令和5年6月16日(金)	第1回 入札説明書等の質問(入札参加に関する事項)への回答公表
令和5年6月22日(木)	第一次審査書類及び対話参加申請書類の提出期限
令和5年6月27日(火)	第一次審査結果及び対話参加通知書、対話実施要領の通知
令和5年6月30日(金)	第2回 入札説明書等の質問(施設整備計画に関する事項)及び対話における議題内容等申請書の受付期限
令和5年7月13日(木)	対話
令和5年7月19日(水)	対話における議題内容等申請書に係る回答
令和5年7月27日(木)	第2回 入札説明書等の質問(施設整備計画に関する事項)への回答
令和5年10月6日(金)	入札公告変更の公告、追加指示書の交付
令和5年10月10日(火)	第二次審査書類(実績)の提出
令和5年10月13日(金)	追加指示書に係る質疑への回答
令和5年10月16日(月)	第二次審査書類(技術提案)の提出
令和5年10月31日(火)	第二次審査書類(入札価格)の提出
令和5年11月7日(火)	プレゼンテーション・ヒアリング、開札、総合評価点の算出
令和5年11月8日(水)	事業者の選定(決定)

## 3. 審査結果

### (1) 第一次審査(参加要件確認)

令和5年6月22日(木)までに下記4グループより、参加表明書を含む第一次審査書類が提出された。本院にて参加要件の確認を行った結果、全てのグループの参加が認められ、令和5年6月27日(火)に全てのグループの代表企業に対して、第一次審査結果を通知した。

なお、選定委員会では、参加者の企業名を伏せてプレゼンテーション・ヒアリングの審査を行うため、各グループの代表企業に対し、仮企業名(Team Blue、Team Red、Team Yellow、Team Green)を通知した。

グループを構成する企業の一覧	
<b>【Team Blue】</b>	
代表企業：株式会社熊谷組	構成員：株式会社奥田工務店 株式会社内藤建築事務所 滋賀県建築設計監理事業協同組合
代表企業：戸田建設株式会社	構成員：株式会社石本建築事務所
代表企業：清水建設株式会社	構成員：株式会社桑原組
代表企業：株式会社鴻池組	構成員：株式会社安井建築設計事務所

### (2) 第二次審査(実績審査、基礎審査、提案審査、価格審査)

#### ① 実績審査

令和5年10月10日(火)までに全ての参加者より、第二次審査書類(実績)が提出された。本院にて第二次審査(実績審査)を行い、その結果、各参加者に以下の実績点が付与された。

グループ名	実績点 (8.00点満点)
熊谷組関西支店・奥田工務店特定建設工事共同企業体・内藤建築事務所・滋賀県建築設計監理事業協同組合設計共同体グループ	8.00
戸田建設・石本建築事務所グループ	7.00
清水・桑原特定建設工事共同企業体	8.00
鴻池組・安井建築設計事務所グループ	8.00

## ②基礎審査

令和5年10月16日（月）までに全ての参加者より、第二次審査書類（技術提案）が提出された。本院にて第二次審査（基礎審査）を行った結果、全ての参加者が「別添資料1要求水準書」に示す要求水準を満たしていることが確認された。

## ③提案審査

令和5年10月16日（月）までに全ての参加者より、第二次審査書類（技術提案）が提出された。令和5年11月7日（火）に選定委員会において各委員が、技術提案書等及びそれに基づくプレゼンテーション・ヒアリングによる審査を行い、落札者決定基準に則った技術提案点の採点を行った。その結果、各参加者に以下の技術提案点が付与された。尚、参加者の得点は、選定委員会の委員6名の採点（小数点第3位）の平均点としており、得点化の際は、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位までを求めた数値としている。

評価項目	評価の着眼点	キーワード	①技術評価点の採点結果			②5段階評価の結果		
			配点 (満点)	熊谷組他 グループ	熊谷組他 グループ を除く 3社の平均 点	配点 (満点)	熊谷組他 グループ	熊谷組他 グループ を除く 3社の平均 点
提案テーマ① 事業への取組	業務実施方針	・本事業推進における理解度 ・プロジェクト特性を活かした提案	2.50	1.875	1.771	5.00	4.00	3.83
	取り組み体制	・品質、安全、工程が厳守できる体制の確認	2.50	1.771	1.701	5.00	3.83	3.72
提案テーマ② 新病院の品質	隣接施設や周辺地域に配慮した病院	・周辺環境の配慮提案 ・調和した外観・外構計画	9.00	7.500	5.000	5.00	4.33	3.22
	患者・家族にやさしい病院	・患者及び病院利用者の療養環境	9.00	7.875	4.250	5.00	4.50	2.89
	職員が働きやすい病院	・職員の職場環境	9.00	7.500	4.750	5.00	4.33	3.11
	感染症に配慮した病院	・感染症対策に関する有効な提案	6.00	5.000	4.083	5.00	4.33	3.72
	可変性への対応	・医療機能を維持した上での可変性、拡張性	4.00	2.833	2.389	5.00	3.83	3.39
	品質管理	・品質管理とマネジメントに関する有効な提案	3.00	2.250	2.250	5.00	4.00	4.00
提案テーマ③ 災害対策とライフサイクルコスト削減・アフターサービス	災害に対応した病院	・災害時の対策及びBCPの考え方	6.00	4.250	4.167	5.00	3.83	3.78
	ライフサイクルコスト削減に関する技術的提案	・ランニングコストの削減提案（エネルギーコスト等）	3.00	1.625	2.042	5.00	3.17	3.72
	竣工後のアフターサービス	・アフターサービスの具体的提案と体制について	1.00	0.708	0.694	5.00	3.83	3.78
提案テーマ④ 工程管理関連 工事調整	工程管理	・適切な工程管理 ・事業工程遅延防止策 ・不測事態への対応	4.00	2.833	2.889	5.00	3.83	3.89
提案テーマ⑤ コスト管理	コスト管理	・契約金額内での事業推進	4.00	2.833	2.889	5.00	3.83	3.89
提案テーマ⑥ 施工計画	安全管理・近隣配慮	・工事中の安全対策及び周辺への配慮提案	3.00	2.375	2.083	5.00	4.17	3.78
提案テーマ⑦ 地域への配慮	地域貢献	・地元の活性化	3.00	2.000	2.292	5.00	3.67	4.06
提案テーマ⑧ プレゼンテーション・ヒアリング	プレゼンテーション・ヒアリングにおいて評価する。	・プロジェクト推進力 ・信頼性	3.00	2.375	1.750	5.00	4.17	3.33
合計			72.00	55.60	45.00	—	—	—

#### ④価格審査

令和5年10月31日（火）までに全ての参加者より、第二次審査書類（入札価格）が提出された。また、令和5年11月7日（火）に、全ての参加者立会いのうえ開札を行い、全ての参加者の入札価格が、本院が設定した予定価格以下であることを確認した。

また、入札価格を基に、落札者決定基準に則った価格点の採点を行った。その結果、各参加者に以下の価格点が付与された。

グループ名	入札価格 (予定価格：9,670,000,000円)	価格点 (20.00点満点)
熊谷組関西支店・奥田工務店特定建設工事共同企業体・内藤建築事務所・滋賀県建築設計監理事業協同組合設計共同体グループ	8,219,000,000円	20.00
戸田建設・石本建築事務所グループ	8,219,420,000円	20.00
清水・桑原特定建設工事共同企業体	8,415,000,000円	17.30
鴻池組・安井建築設計事務所グループ	8,580,000,000円	15.03

#### ⑤総合評価

落札者決定基準にて示された総合評価点は以下の計算式の通りである。全ての参加者の総合評価点を算出した結果、最高得点である「熊谷組関西支店・奥田工務店特定建設工事共同企業体・内藤建築事務所・滋賀県建築設計監理事業協同組合設計共同体グループ」を本事業を実施する事業者として決定した。

総合評価点（満点100.00点） =実績点（8.00点）+技術提案点（72.00点）+価格点（20.00点）
---

#### 【総合評価算定結果】

グループ名	実績点 (8.00点満点)	技術提案点 (72.00点満点)	価格点 (20.00点満点)	総合評価点 (100.00点満点)
<b>【1位】</b> 熊谷組関西支店・奥田工務店特定建設工事共同企業体・内藤建築事務所・滋賀県建築設計監理事業協同組合設計共同体グループ	8.00	55.60	20.00	83.60
<b>【2位】</b> 戸田建設・石本建築事務所グループ	7.00	49.94	20.00	76.94
<b>【3位】</b> 清水・桑原特定建設工事共同企業体	8.00	42.13	17.30	67.43
<b>【4位】</b> 鴻池組・安井建築設計事務所グループ	8.00	42.94	15.03	65.97

#### 4. 講評（選定委員からの意見）

チーム名	選定委員の意見
<p data-bbox="331 1048 432 1070">Team Blue</p> <p data-bbox="252 1131 513 1265">熊谷組関西支店・奥田工務店特定建設工事共同企業体・内藤建築事務所・滋賀県建築設計監理事業協同組合設計共同体グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○延べ床面積が最も大きく、各スペースを広く確保していただきました。（他社と比べ延べ床面積が500～1,000㎡程度の差がっていました）</li> <li>○スペースが広いことから、各病棟の機材庫、管理部門のスペースを確保しやすいというメリットがあります。</li> <li>○新病院の建物が体育館と平行した長方形であることから、安定感がある配置になっています。</li> <li>○病棟、外来部門、管理部門、中央診療部などの各部門の配置計画が良かったです。</li> <li>○個室率が最も高い点も、今後色々な使い勝手が良くなる可能性があります。</li> <li>○送電線の影響に配慮した病棟設計が特色です。</li> <li>○救急車が南側市道から短い距離で救急部の建物に入ることができる点が他社に比べて特色があり良かったです。</li> <li>○ライフサイクルコストに対する提案は書かれてはいるものの、プレゼンではあまり触れられていませんでした。CASBEE-B+と他社に比べてこの点のランクが低い計画案でした。</li> <li>○建物構造上で、壁の断熱、窓面積、清掃などの取り組みが不明でした。</li> <li>○外観について、病棟階とそれ以外の階で色を分けて配慮はあるものの、川側に上階まで立ち上がっていることが気になりました。</li> <li>○スタッフゾーンが比較的まとまっているのが良かったです。</li> <li>○各階のバルコニーだと思い、避難に関わる質疑を行ったが、2階の輪郭線でした。避難階段について、法規的にクリアできていても、選定された場合は、水平区画での一次避難なども考慮しながら、消防との確認をしていただきたいです。</li> <li>○急性期60床を1フロアに集約しており、明解で良かったです。</li> <li>○全体的に動線・ゾーニングに大きな問題がなく、平面配置の全体的なバランスが良かったです。</li> <li>○基本設計時の対話による進め方の提案は良かったです。</li> <li>○避難階段等平面プランについては見直しの必要があると思われます。南側にも上層階までの階段の設置を検討いただきたいです。</li> <li>○環境性能について、CASBEE-B+は要求水準を満たしているものの、他社に比べると劣っています。</li> <li>○外観デザインの配慮が少ないです。緑化も含めさらなる検討をお願いしたいです。</li> <li>○敷地を十分に使用できていて、全体的に広さに余裕を感じる計画です。動線も明確であり、各階の配置も上下階の関係を上手く考慮していると感じました。</li> <li>○鉄塔への配慮も含めて、6階も病棟として計画している点が良いと感じました。</li> <li>○救急動線について、狭いものの、確保されている点が良かったです。</li> <li>○個室率が多いというのは新興感染症を経験した中で、十分にインパクトのある良い計画であると感じました。</li> <li>○患者の生活の質、職員の働く環境としては、他社と比べプラスに感じることができそうです。</li> <li>○ライフサイクルコスト、地域貢献に対しての提案が不足していました。</li> <li>○各部門とのヒアリングを4回以上計画している点が良かったです。</li> <li>○災害時に体育館を病院と連携して活用する想定をしている点が良かったです。</li> <li>○リハビリと回復期が同じフロアである点が良かったです。</li> <li>○急性期を内科と外科に30床ずつ、2単位にわけているのが良かったです。</li> <li>○院内の検査の待合や動線も良かったです。</li> </ul>

チーム名	選定委員の意見
Team Red	<ul style="list-style-type: none"> <li>○延べ面積は広く計画していただいでいて（第二番目の広さ）、外来の主要な診療は1階で行われ、採血、生理検査、放射線部、救急部が連結して業務にあたる点が良かったです。</li> <li>○制震構造であり、強化されている点も良かったです。</li> <li>○CASBEE-Aとランクも高く、ZEBも検討されていてライフサイクルコスト削減に関係しているのが特色でした。</li> <li>○地域貢献の点は不明確な内容になっていました。</li> <li>○リハビリが2階にあることは問題であると考えていますが、それ以外の全体的な部門配置計画は良かったです。</li> <li>○急性期と維持期の病棟が同じフロアという点は気になります。</li> <li>○個室率33%は将来の変性が低いと感じました。</li> <li>○50cmの盛り土を必要とするとなっているが、病院本体部分は体育館と同じレベルではないか、疑問に感じました。</li> <li>○救急車がなかよし交流館の横を通り抜ける配置となっていて、サービス車と同じ通路が利用されることから、物品の搬入、搬出に問題があると感じました。</li> <li>○水平性の外観を強調しており、強烈だと感じました。</li> <li>○病棟の4床室を向かい合わせで中廊下になっているのは、病院スタッフにとって使いにくいのではないかと感じました。</li> <li>○コストチェックが5回ある点は良かったです。</li> <li>○にぎわい広場があり、体育館との間のアクティビティをよく考えていました。</li> <li>○平面計画について、まとまりがない印象もあるが、サークルという手法を使って上手くまとめています。</li> <li>○メインのエントランスとサブのエントランスが小さく、検討の必要があると思われる。</li> <li>○救急車のアプローチについて、高低差があるため、浸水時のアクセスなどの配慮が気になりました。</li> <li>○急性期病棟と維持期病棟、慢性期病棟が1フロアであることが気になりました。</li> <li>○Team Yellowと同じく、廊下の見通しなどについては良いが、全体的な使い勝手が良いようにもう少し配置を整理できると良いと感じました。</li> <li>○デジタル竣工図の提案は、職員にとって良いものであると感じました。</li> <li>○働きやすさに配慮されていたが、食堂の会議室化やフリーアドレスなど現実味があるのか疑問でした。</li> <li>○延べ面積や建築面積が大きい割に、建物が計画地いっぱいに配置されているところに、可変性に対する疑問を感じました。</li> <li>○地域貢献に対する提案について、具体的な数値がないことが残念でした。</li> <li>○ライフサイクルコスト30%減は評価できます。</li> </ul>



チーム名	選定委員の意見
Team Yellow	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用可能な延べ床面積が少ない中、よく検討された計画案でした。</li> <li>○特色は地域貢献の点で明確に強く支援できる内容になっていました。</li> <li>○東側の中ノ池川側の敷地境界に近接して建物を配置しており、川側のスペースに余裕がありません。この場合には地盤の強化が必要ではないか、その点工夫がされているのが疑問に感じました。</li> <li>○2階に外来が設定されているため、エスカレーターを設置しているが、コストアップにつながると感じます。この規模の病院でエスカレーターが必要か疑問に感じました。</li> <li>○リハビリが2階にあることが気になります。病院リハビリテーションは、外来リハでは極めて費用対効果が悪く、限られた人材でリハビリ効果を上げるには、多くの場合入院リハビリを強化する必要があります。そのために、病棟の回復期リハ病棟にリハビリテーション部を併設することが効率的です。</li> <li>○外来は1階に持ってきて救急部、放射線、生理検査も併設し、効率よい外来診療を提供する必要があると感じます。</li> <li>○敷地北側から救急車やサービス車が出入りすることも気になります。</li> <li>○外観で低層部分を周囲に回しており、高層部分はセットバックしているため、建物近傍で、圧迫感が無くて良いです。</li> <li>○1階エントランスから見て、入ってすぐ外来ほど利用者が多くはないと思われる人工透析室を配置しているのと、最も利用者が多いと予想される外来ゾーンが2階の奥まった位置にあるのが気になりました。</li> <li>○病室について、4床室が中廊下になっており回遊性ができない点は、一日に何度も行き来する看護師にとって使いにくいのではないかと感じました。</li> <li>○間口の12メートルスパンについては可変性が期待できるのが良いと感じました。</li> <li>○外来を2階奥に計画したことで、エスカレーターの設置が必要になっているが、ライフサイクルコストが上がることにつながります。</li> <li>○敷地へのアクセスや動線は、周辺施設への配慮、将来の増築への準備を考えると問題が多いです。</li> <li>○2階外来部門について、1階エントランスからかなり遠い位置に配置されており、患者がアクセスするまでに動線が長いです。</li> <li>○病院関係者との対話が1.5ヶ月間とされ、利用者との共創という意識が低いと感じました。</li> <li>○構造や地質の提案には独自性があります。他社は安全面でノーマルな考え方であるが、Team Yellowは必要以上の対策は行わず地盤改良での対応していました。免震も検討していることは一定評価できます。</li> <li>○現状、回復期病棟とリハビリが離れていることに不具合があると感じています。今回提示のプランは改善することは可能とのことですが、どのように改善するかイメージが湧きにくかったです。</li> <li>○免震の提案もあり費用内で可能という点は良かったです。</li> <li>○疑問点が多い計画でした。具体的には、液状化対策がないこと、救急車の動線が建物の左側からでなかよし交流館に近接していること、管理部門が最上階にあること、リハビリが2階へ配置され、回復期病棟と離れていることについては課題と感じました。</li> <li>○地域貢献の提案は積極的で具体的であったので良かったです。</li> <li>○地盤の液状化について、問題無いと言っていました。他の3社と違う点が気になります。</li> <li>○地域貢献に対する提案は5.2億円であり、評価できます。</li> <li>○第2駐車場について、緑化を多くするとコスト面で負担になります。</li> </ul>

チーム名	選定委員の意見
Team Green	<p>○延べ面積が一番小さい中で、外来や病棟の配置に工夫が見られて良かったです。</p> <p>○リハビリと回復期病棟が同フロアであること、救急と手術が同フロアであることが良かったです。</p> <p>○救急車の通行路であるピロティが設定されているが、その部分の幅が狭く、一方通行になり、救急車と各種サービス車も同じ経路で搬入・搬出されるため、荷物の上げ、下し時に問題は無いかが疑問に感じました。</p> <p>○建物が斜めになっているため、体育館との幅が南側で少し狭くなっていることから、圧迫感がないか、疑問に感じました。</p> <p>○看護師経験者がチームに含まれているので、病院と設計施工者との間の調整役としてうまく機能するとよいと思いました。</p> <p>○防火区画による水平避難が可能な点も良かったです。</p> <p>○工程について、悪天候の想定をしているという説明があったことが良かったです。</p> <p>○ピロティを作ることで、将来の北側からの色々なアプローチに対応ができる点も評価ができます。</p> <p>○水平性の強調が強く、周辺に対してボリュームによる圧迫感が強いと思われます。</p> <p>○更衣室の出入口が一緒になっていて本来の清潔ゾーンに非清潔ゾーンの服装で入るのかと気になりました。</p> <p>○基本設計の8ヶ月間は、病院と話し合いをしながら進めるというプロセスが良いです。</p> <p>○ピロティというアイデアにより、色々な車両の動線整理を解決できています。また、雨に濡れないところも良いです。一方、ピロティを採用しているために、東側の敷地境界近くまで外壁が立ち上がっており、圧迫感を感じます。</p> <p>○外観デザインについてもそれなりに配慮されています。</p> <p>○緑化についても多すぎず、少なすぎずちょうどよいです。</p> <p>○配置、動線が明確でした。</p> <p>○看護師の経験者がいるということが安心できます。</p> <p>○個室は固めて管理するとのことだが、EVに近く安全面上は良いものの、使い勝手への懸念を感じました。しかし、使い方をプレゼンの中でしっかり説明いただいていたので十分に理解ができました。</p> <p>○ピロティは、救急車が通れるように配慮しているので良かったです。</p> <p>○急性期（内科・外科）をまとめて60床とし、病棟1単位となっている点が気になりました。</p> <p>○地域貢献に対する提案は3.5億円であり、評価に値します。</p>

以上